

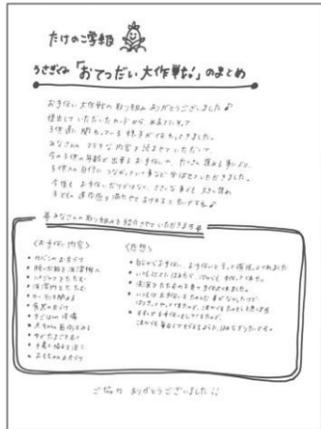
郡上市白鳥保育園 『お手伝い大作戦!』 7月22日～7月26日

お手伝いをしてくれた子どもたちの姿をたくさんほめ、達成感を満たすことができたという親の願いが、活動に繋がりました。子どもたちが張り切る姿が浮かぶようです。



〈主催者の願い〉
年少になり、できることが増えてきた子どもたちと、「お手伝い大作戦!」に取り組む中で、ささいなことでも大きくほめることにより、子どもの自信につなげたい。

〈感想をまとめられた通信〉



たけのこ学級
うさぎのテーマ **お手伝い大作戦!**

めあて お手伝いしてくれた子どもをたくさん褒めてあげる親。たくさん褒められて自信がつく子ども。そこで親子の絆を深める。

日時 7月22日～7月26日

方法 7月22日～7月26日のうち3日以上1日1つ以上のお手伝いしよう!!
*お手伝いの内容は何でもOK!!

おの表にお手伝いの内容と記号の記入をお願いします。

1日1つできたら ○
2つ以上できたら ◎
12つまでできたら △を記入して下さい。

(例) 日に5 カバンのあがりつけ ○

最後に感想をお願いします。
7月29日 子どもに持たせて下さい。

ご協力ありがとうございます。

〈取り組まれた実践カード〉

お手伝いの内容を
書きます。
できたら◎○△を
記入します。

【保護者の感想(一部抜粋)】

- ・自分から「お手伝い、お手伝い。」と言って頑張ってくれた。
- ・いつも以上にほめたら、次からも手伝ってくれた。
- ・進んでお手伝いをしてくれたので、これからも毎日してもらえるようにたくさんほめたい。

※学びポイント※

〈子どもの自己肯定感を高める活動〉
自立に向けたお手伝いをテーマに、子どもの姿をほめ、自信につなげる親子活動に楽しく取り組まれたこと。
〈取組カードの工夫〉
ねらいをしっかりと伝えたいうえで、負担なく取り組むことができるカードを工夫されたこと。

郡上市立高鷲小学校 夏休み期間 『夏休み家族読書』

一冊の本を通して、親子のふれ合いを深める在宅取組をされました。「楽しい時間がもてた」「ふれ合う良い機会になった」との感想もあり、保護者がわが子との関わりを考える、意義ある活動になったと振り返られています。



〈親子の感想が書き込まれた取組カード〉

なつやすみ はやね はやおきを がんばろう

夏休み家族読書

本の題名 ウオンバット

読者の名前 〇〇〇

感想欄に「おうちの方の感想」「おうちの感想」が書かれています。

〈主催者の願い〉
多くの本に親しむことができる夏休み期間に、親子で同じ本を読み、感想を伝え合う、ふれ合いの機会にしてほしい。また、わが子の感じ方や考え方を知る機会にもしてほしい。

【保護者の感想(一部抜粋)】

- ・自分も昔、読んだことがある本で懐かしかった。親子で同じ本を読んでみるのもいいなと思った。
- ・今回は私が子どもに読み聞かせをしてもらった。とても良い時間だった。
- ・子どもの喜ぶ姿を見られる良い機会だったと思う。また一緒に読みたいと思った。

※学びポイント※

〈活動の願いを確実に伝える〉「本選び」から親子で取り組むことができるよう、夏休み前の懇談会時に担任の先生から説明。わが子とのふれ合いを大切にしたい親子取組にされたこと。
〈取組後のカードを共有〉好きな場面の絵・親子の感想を書き込んだカードを教室に掲示し、保護者来校時に交流できるようにされたこと。

美濃市立中有知小学校 夏休み期間

『夏休みあいさつ運動(あいさつ標語)』

今年度は、学校伝統の『あいさつ』をPTA活動のスローガンに取り上げて、活動されています。日ごろからあいさつ運動に取り組まれているとともに、夏休みには、親子であいさつ標語づくりをされました。



〈うだつ君と元気にハイタッチ! あいさつ運動の様子〉

〈主催者の願い〉
夏休みに親子で『あいさつ標語づくり』に取り組むことを通して、子どもたちに温かい心が育まれ、学校や地域にあいさつの輪がいっぱい広がるようにしたい。

〈実践カード〉
あいさつ標語

〔例〕 あいさつで つながるひろがる ちいさいの
〔例〕 夏休みがで あいさつするぞ 暑も辛い
〔例〕 げんきなあいさつ こころをつなぐ

〔ぼく・わたしの考えた標語〕

『めをみると あいさつしようとおもうね』(1年男児)

〔保護者からのメッセージ〕

子どもから、学校であいさつを大事にしていることを聞いた時、「アイコンタクト」が出てきたので取り入れた。相手の目を見て、元気よくあいさつができるように成長してほしい。(父親)

標語の例が
示されています。

1～3年生は、
親子で標語を
考えられるように配慮
されました。



【標語の紹介】 (5年女児)
『あいさつが ひびく町には 笑顔咲く』
【保護者のメッセージ】 (母親)
人と人のつながりは、まず「あいさつ」から始まると思うので、笑顔であいさつすることで、相手の方も笑顔で応えてくだされば、町中が笑顔でいっぱいになると思う。

※学びポイント※

〈学校で大切にしていることを在宅取組のテーマに〉
全家庭、親子で取り組み、「あいさつ」を大切にしようという気持ちを育む活動にされていること。
〈親⇄子の思いを知る親子活動に〉
保護者からのメッセージ欄には、温かい親の思いが書き込まれ、取組を通して互いの思いを知る機会にされたこと。

郡上市立相生小学校 8月19日～8月25日

『なつやすみ はやね はやおきを がんばろう』

今年度、郡上市八幡地域では「生活リズム」を共通のテーマにして取り組まれています。相生小学校では、1年生の親子を対象に、夏休みの後半に在宅取組を実施されました。1年生にとって、初めての長い夏休み明けが、より良い生活リズムでスタートできるように考えられた取組です。



〈主催者の願い〉
夏休みに不規則になりがちな生活リズムを、最後の1週間で見直すことによって、スムーズに学校生活に戻れるようにする。

〈実践カード〉

なつやすみ はやね はやおきを がんばろう

はじめに、おきるじかん ねるじかん をきめて かきましよう。
できたら いろをぬるか シールをはりましよう。
「プラスことば」をおうちのひとと おたがいつかいましよう。

	8月19日	8月20日	8月21日	8月22日	8月23日	8月24日	8月25日
時 分におきる	☀️	☁️	☀️	☀️	☁️	☀️	☀️
あさごはん	🍲	🍞	🍲	🍞	🍲	🍞	🍲
時 分にねる	🌙	★	🌙	★	🌙	★	🌙
プラスことば	♡	♡	♡	♡	♡	♡	♡

【保護者の感想(一部抜粋)】

- ・休み中はなかなかリズムが整わなかった。
- ・ラジオ体操がある時は早起きすることができた。
- ・プラス言葉はなかなか言えない。私から意識して使っていきたい。

※学びポイント※

〈取組カードの工夫〉
自分から進んで生活リズムの見直しに取り組めるように、項目ごと絵柄を変え、色塗りをしたくなるような工夫をされたこと。
〈学校活動と連携した活動〉
相生小学校の取組の一つである「きずな宣言」の「おもいやりのプラス言葉をつかいます」を項目に入れ、学校で大切にしていることに家族で取り組む機会にされたこと。